

令和 6 年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R 6 年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和 6 年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現状の 数値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
王寺町	②学校と地域の課題	通学路等の地域安全・地域防災	義務教育学校開校に伴う通学路の変更により、児童の安全確保が課題	見守り隊を募集して町内の横断歩道等で安全活動に取り組んでいる	令和4年度、教育委員会が募集し、145名の見守りボランティアに登録いただき、子どもの登下校の見守り活動を実施。令和5年度では166名までに増えた。今後、コーディネーターを調整役として地域が主体となって持続可能な見守り活動を実施していく。	学校、地域、行政の役割分担を明確化することにより、行政の伴走支援の具体化や地域との協働が進み、教員の負担が軽減する。	見守りボランティアの参加者目標値 200名に対する割合	83	%	90	76	2 令和 6 年度（2 月末時点）での登録者数は 1 5 1 人である。関わっているボランティアの高齢化による、既存の登録者の辞退の数に対して新規登録者数が伸びていないことが原因であると考え、募集の広報活動と学校との連携を強化し、登録者数を増やしていく。 成果として、登下校に関する対応を地域の方が担うことにより、児童の安全が確保され、教員の負担軽減につながっている。	https://www.town.oji.nara.jp/kakuka/kyoikuiinkai/syogaigakusyu/gyomuannai/9758.html

○令和 6 年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

- ・アウトカムの達成度に関する評価
- 当該年度におけるアウトカムの達成度（課題の解決・改善の進捗度）を 5 段階で自己評価してください。
- 【選択肢】
- 05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した

04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた

03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた

02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる

01 本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直しが求められる